

別紙 5

令和 5 年度

事業報告書の附属明細書

社会福祉法人川越市社会福祉協議会

令和5年度事業報告書の付属明細書目次

1	社会福祉事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 法人本部拠点区分	
	(2) 地域福祉推進事業拠点区分	
	(3) 福祉基金拠点区分	
	(4) 共同募金配分金事業拠点区分	
	(5) ボランティアセンター事業拠点区分	
	(6) ファミリー・サポート・センター事業拠点区分	
	(7) 通所介護事業拠点区分	
	(8) 地域活動支援センター事業拠点区分	
	(9) 福祉サービス利用援助事業拠点区分	
	(10) 生活福祉資金貸付事業拠点区分	
	(11) 小口資金貸付事業拠点区分	
	(12) 相談事業拠点区分	
	(13) かわごえ友愛センター事業拠点区分	
	(14) 生活管理指導員等派遣事業拠点区分	
	(15) 盲人ガイドヘルパー派遣事業拠点区分	
	(16) 障害者虐待防止対策支援事業拠点区分	
	(17) コミュニティソーシャルワーカー事業拠点区分	
	(18) 介護支援いきいきポイント事業拠点区分	
	(19) 生活支援体制整備推進事業拠点区分	
	(20) 老人福祉センター西後楽会館事業拠点区分	
	(21) 総合福祉センター事業拠点区分	
2	公益事業区分・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	59
	(22) 法人後見事業拠点区分	
	(23) 成年後見制度推進事業拠点区分	

【表記説明】

- ・ 「コ縮小」・・・新型コロナウイルスの影響で縮小した事業
- ・ 「コ中止」・・・新型コロナウイルスの影響で中止した事業

令和5年度事業報告書

1 社会福祉事業区分

(1) 法人本部拠点区分

① 事業運営体制の強化

ア 役員会等の充実

ア) 役員会等の開催

理事会 4 回、評議員会 3 回、評議員選任・解任委員会 1 回及び監査を開催した。

ア) 理事会

(開催回数 4 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 6 日	理事 11 監事 1	【議案】 議案第 1 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会経 理規程の一部を改正する規程を定める ことについて 議案第 2 号 令和 4 年度計算書類等について 議案第 3 号 令和 4 年度事業報告について 議案第 4 号 令和 5 年度第 1 回社会福祉法人川越市 社会福祉協議会評議員会の招集につい て 議案第 5 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評 議員選任・解任委員会の招集及び評議員 候補者の提案について
6 月 22 日	理事 13 監事 1	【議案】 議案第 6 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会理 事長の選任について 議案第 7 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会副 理事長の選任について 議案第 8 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会理 事会部会員の選任について 議案第 9 号 令和 5 年度川越市社会福祉大会運営委 員会委員の選任について 議案第 10 号 川越市社会福祉協議会福祉基金運営委 員会委員の選任について 議案第 11 号 在宅福祉サービスセンター運営委員 会委員の選任について 議案第 12 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 小口資金貸付事業運営委員会委員の選

		任について 議案第 13 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 評議員選任・解任委員会委員の選任に ついて
12 月 5 日	理事 12 監事 2	【議案】 議案第 14 号 令和 5 年度資金収支補正予算につ いて 議案第 15 号 令和 5 年度第 2 回社会福祉法人川越 市社会福祉協議会評議員会の招集につ いて
3 月 5 日	理事 9 監事 1	【議案】 議案第 16 号 積立金の新設について 議案第 17 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 定款の一部を改正する定款を定めるこ とについて 議案第 18 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 経理規程の一部を改正する規程を定め ることについて 議案第 19 号 令和 5 年度資金収支補正予算につ いて 議案第 20 号 令和 6 年度事業計画について 議案第 21 号 令和 6 年度資金収支予算について 議案第 22 号 役員等賠償責任保険の加入について 議案第 23 号 令和 5 年度第 3 回評議員会の招集に ついて ※議案 19 号、20 号、21 号については、書面決議に よる（決議があったものとみなされた日：令和 6 年 3 月 8 日）

① 評議員会

(開催回数 3 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 22 日	評議員 32 監事 1	【議案】 議案第 1 号 令和 4 年度計算書類等について 議案第 2 号 令和 4 年度事業報告について 議案第 3 号 令和 5 年度川越市社会福祉大会運営委 員会委員の選任について 議案第 4 号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会 役員の選任について

12月19日	評議員 32	【議案】 議案第5号 令和5年度資金収支補正予算について
3月19日	評議員 26	【議案】 議案第6号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会積立金の新設について 議案第7号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款を定めることについて 議案第8号 令和5年度資金収支補正予算について 議案第9号 令和6年度事業計画について 議案第10号 令和6年度資金収支予算について ※議案7号については、書面決議による（決議があったものとみなされた日：令和6年3月25日）

㊦ 評議員選任・解任委員会 (開催回数 1回)

開催日	出席者数	議 題 等
6月13日	委員 2	【議案】 議案第1号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員の選任について（選任日から令和7年度定時評議員会の終結の時まで）

㊧ 監事による監査 (開催回数 1回)

開催日	出席者数	監 査 事 項
5月25日	監事 2	(1) 令和4年度業務監査について (2) 令和4年度財務監査について

(イ) 企画財政部会の開催

組織強化を図る上で必要な費用及び近年多発する災害時の活動資金を確保するため、特定の目的や用途を定めた積立金新設について協議した。

開催日：令和6年2月15日(木)

出席者：6名

(ウ) 諸規程等の整備

本会の運営基盤の強化や法人ガバナンスの確保、リスク管理体制の強化を図るため諸規程の改正等を行った。

	制定	一部改正
件 数	4件	29件

(エ) 事業継続計画（BCP）の訓練

事業継続計画（BCP）を実効性のあるものとするため、机上訓練を開催した。今回は、「状況予測能力の向上」、「役割行動の確認」を目的として、管理職を中心にワークショップ訓練を行った。

開催日：令和6年1月31日(水)

出席者：21名

イ 第五次川越市地域福祉活動計画の推進

本会ホームページで継続的に活動計画の周知を行った。

また、活動計画の進行管理を行うとともに地区社協の会議等で地区別福祉プランの進行管理を行った。

なお、川越市社会福祉審議会地域福祉専門分科会と併せて本会地域福祉活動推進委員会を開催し、活動計画の進捗状況等を報告した。

開催日：令和5年10月5日(木)、令和6年1月16日(火)

出席者：15人、16人

② 財源の確保

ア 社協会員加入の促進

社協会員募集については、普通会员1口300円、特別会員1口1,000円、賛助会員1口5,000円以上でお願いした。社協会費の使い道などをチラシに掲載するとともに、各地区社協の会議等に出席し説明を行い社協会費加入の促進を図った。

区 分	令和5年度		参考（令和4年度）	
	加入世帯数等	会費収入(円)	加入世帯数等	会費収入(円)
普通会員	38,617世帯	13,996,430	42,585世帯	14,791,268
特別会員	1,390人	1,499,800	1,782人	1,891,500
賛助会員	321件	1,751,185	235件	1,335,000
合 計		17,247,415		18,017,768

イ 一般寄付金の受入れ

市民の方や事業所、団体等から地域福祉活動への活動資金として寄付金をいただいた。また、新たな寄付の方法などを検討した。

	令和5年度	参考（令和4年度）
件 数	66件	53件
金 額	3,159,056円	3,092,268円

③ 広報活動の強化

ア 社協だよりの発行

社協だよりを6回発行し全戸配布した。

総部数 1,011,649部

号数	発行日	号数	発行日
245号	6月1日	248号	12月1日
246号	8月1日	249号	2月1日
247号	10月1日	250号	4月1日

イ 声の社協だよりの配布

ボランティアグループ「オアシス音訳サークル」の協力により、毎号デジ

一図書CDを作成し9名の利用者に配布した。

ウ 社会福祉協議会ホームページでの情報発信

福祉情報の提供や活動の報告を行っている。また、各課でホームページのお知らせ機能を活用して、周知すべき情報について発信した。

	令和5年度	参考(令和4年度)
アクセス数	125,424件	127,505件

エ SNSの活用

地域に関する情報、ボランティアの活動、イベントや助成金に関する情報などは、ホームページ、facebook、X、instagram等のSNSに投稿し周知した。

また、部署によっては、個別のLINEアカウントを作成し、情報発信した。

オ 川越市社会福祉大会の実施(コ縮小)

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して、表彰及び感謝の意を表すとともに地域福祉の強化や市民参加によるボランティア活動の推進を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら式典を執り行った。

・テーマ:「人と人とのつながりを深め だれもが自分らしく いきいきと暮らせるまち 川越」

・会場:川越市やまぶき会館

・参加者数:222人

・大会会長表彰 65人、10団体

・大会会長感謝 56人、14団体

・大会アトラクション(事例発表)

テーマ:埼玉県の「こどもの居場所づくり」について

発表者:埼玉県福祉部少子政策課 牧野氏

チームひだまり 会長 上叢氏

川越子ども応援パントリー 代表 時野氏

④ 職員力の向上

ア 総合的な研修体系の検討

県社協等が開催する研修について、受講の必要性を検討し職員に階層別研修や専門的研修を受講させ、職員の資質向上に努めた。また、内部研修としては、職務を通じた育成(OJT)を中心に行い、個々の職員の自己啓発の支援も行った。

(ア) 外部研修等

・県外研修

名	称	参加者数
災害ボランティアコーディネーター養成講座		1

関東ブロック合同研究協議会	2
第12回赤い羽根全国ミーティング	1
ウォーキングフットボール体験会（講座打ち合わせ）	2
国際福祉機器展	1
社会福祉協議会・社会福祉施設職員 会計実務研修	1
ボランティアポイント制度の視察	1

・県内研修

名 称	参加者数
埼玉県生活支援コーディネーター協議体	1
埼玉県生活支援コーディネーター行政担当者基礎研修	1
ボランティアコーディネーター連絡会 総会	1
ボランティアコーディネーター新任研修	1
令和5年度彩の国あんしんセーフティネット事業 担当相 談員 養成研修	2
第10回地域福祉推進プラットフォーム	1
災害ボランティアセンター運営支援	1
埼玉県おもちゃ図書館連絡会・交流会について	1
災害支援チーム員会議	1
福祉教育推進員会議	1
災害対応力強化研修（基礎編）	1
埼玉県生活支援コーディネーター指導者協議体	1
彩の国あんしんセーフティネット事業担当相談員フォローアップ 研修	1
入間第3ブロック連絡会	4
kintone 視察	2
ボランティアコーディネーター現任研修及び 体験プログラム担当者会議	1
元TDLキャストから学ぶボランティアコーディネーターの ための接遇研修	1
災害対応力強化研修	1
災害ボランティア研修	1
ChatGPT 研修	1
社協連絡会研修集会	1
災害マネジメント研修	1
令和5年度災害対応力強化研修	1
令和5年度生活支援コーディネーター行政担当者現場視察 研修	1

ファミリーサポートセンターアドバイザー研修	1
初任者キャリアパス研修 講師・ファシリテーター	1
学生から見る普段のくらしのしあわせ事業 市内探索	1
埼玉県ボランティアコーディネーター連絡会 情報交換促進事業	1
令和5年度公益的な取組 市町村情報交換会	1
埼玉フードセーフティネット研修	2
学生から見る福祉 探究活動	2
北本市社協 災害ボランティアセンター研修	1
能登半島地震の被災地支援者から学ぶ勉強会	1

(イ) オンライン研修

名 称
社会福祉法における消費税の概要とインボイス制度への対応
労務管理担当者
初任者キャリアパス
生活保護制度入門
中堅キャリアパス
リーダーキャリアパス
レジリエンス向上
管理者キャリアパス
人事管理者
福祉職員の基本的スタンス
医療的ケアに関する研修
ハラスメント
人材育成担当者
社会福祉施設災害
感情マネジメント
スーパービジョン

(※他事業の研修会と一部再掲あり)

(ウ) 情報の共有化

⑦ 職員間の情報の共有化

情報を共有するため、会議の会議録等を開示して共有した。

- ・課長会議 22回/年（原則月2回実施）
各課の課題共有や連絡調整、運営方針の決定などの話し合いを行った。
また、組織の強化及び災害時の活動資金の確保を目的に、新たな積立金の創設に取り組んだ。
- ・リーダー会議 12回/年（月1回実施）
事業スケジュールの調整や各種事業の進捗状況の共有などを行った。

また、次年度からのリーダー会議のあり方について検討した。

- ・研修参加者の復命

研修等に参加した職員の研修内容をまとめた報告書を、グループウェアで公開した。

① 労務管理機能(衛生委員会、産業医の巡視及び健康相談)の強化

- ・衛生委員会 12回/年(月1回実施)

毎月定期的に開催し、職場環境の改善や職員の健康維持増進などについて話し合いを行った。

- ・産業医 毎月1回、職場の巡視及び健康相談を実施した。

② 埼玉県市町村社協連絡会入間第3ブロック連絡会への参加

- ・開催日：令和5年11月30日(木)

- ・会場：所沢市こどもと福祉の未来館

- ・内容：「CSWの取り組みについて」、「人材育成・人材確保について」、「遺贈の受け入れについて」の3つをテーマに情報交換を行うとともに、近隣社協間における担当職員同士の交流を図った。

- ・参加者：5人

③ 第59回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

- ・開催日：令和5年7月6日、7日

- ・会場：プラザヴェルデ(静岡県沼津市)

- ・内容：記念講演

「社協とプロアスリートの連携や協働の可能性」

講師 岡田真理 氏(NPO法人ベースボール・リジェント・ファウンデーション代表)

宮本 聡 氏(フィランソピアドバイザー)

- ・参加者：2人

⑤ 各種事業の実施

ア こども居場所づくりの支援(小江戸こどもサポーターズ)

市内のこどもの居場所づくり活動団体及び今後活動予定のある団体及び個人を対象に、日々の活動状況など情報交換を行う交流会を開催した。

また、団体同士の連携強化やこどもの居場所の周知啓発のため、イベントの運営支援を行った。

- ・開催日：令和5年9月21日(木)

会場：ウェスタ川越

参加者：27人(内訳：20団体・個人2人)

- ・開催日：令和6年2月20日(火)

会場：総合福祉センターオアシス

参加者：18人(内訳：16団体・個人1人)

- ・イベント名：小江戸こども夢フェスタ

開催日：令和6年3月29日(金)

会場：ウェスタ川越

参加人数：延べ約 4,000 人

イ 地区社協会長連絡会の開催

各地区社協会長と各地区社協事業の促進に向け情報交換を行った。

開催日	内 容
5 月 17 日	第 1 回 (1) 市社協評議員の選出について (2) 社会福祉法人川越市社会福祉協議会歳末たすけあい援護金配分委員会委員の選出について (3) 地区社協の周知活動について (4) 地区社協事業について
8 月 4 日	第 2 回 (1) 地区社協の周知活動について 地区社協活動促進事業について
3 月 19 日	第 3 回 (1) 令和 6 年度地区社協活動促進事業について (2) 地区社協の周知活動について (3) 地区社協助成金の見直しについて

ウ 各種団体への助成

⑦ 地区社協、市民児連や障害者団体等の各種団体に地域福祉活動を進めるための事業活動費を助成した。

	令和 5 年度	参考 (令和 4 年度)
件 数	13 件	14 件
金 額	15,850,391 円	15,132,765 円

⑧ 子ども居場所づくり活動団体に継続的な活動を支援するための事業活動費を助成した。

	令和 5 年度
件 数	20 件
金 額	600,000 円

エ 埼玉県共同募金会川越市支会の運営

埼玉県共同募金会川越市支会の事務局業務を行った。

オ 社会を明るくする運動への協力

社会を明るくする運動に協力し啓発活動を行った。

カ 実習生の受入れ

社会福祉士養成のための相談援助実習として、大学生の実習生を受け入れた。

- ・日本社会事業大学 1人
- ・西武文理大学 1人
- ・立正大学 1人
- ・立教大学 1人
- ・十文字学園女子大学 1人

キ 福祉団体事務局

各団体の事務局運営

- ・川越市民生委員児童委員協議会連合会
- ・川越市障害者団体連絡協議会
- ・川越市身体障害者福社会連合会
- ・川越市老人クラブ連合会
- ・川越市遺族会
- ・川越市在宅介護者友の会
- ・川越市ボランティア連絡会

ク 被災地への職員派遣

埼玉県社協との「災害時相互支援に関する協定書」に基づき、被災地へ職員を2人派遣した。

【令和5年台風2号被害に伴う災害ボランティアセンター運営支援】

派遣先：越谷市社協

・1回目

派遣期間：令和5年6月8日(木)～10日(土)

派遣人数：1人

・2回目

派遣期間：令和5年6月15日(木)～17日(土)

派遣人数：1人

(2) 地域福祉推進事業拠点区分

① 戦没者追悼事業の実施

ア 春季戦没者追悼式

令和5年4月12日(水)に開催した春季戦没者追悼式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し実施した。

イ 秋季戦没者追悼式

(ア) 本庁管内地区戦没者追悼式

開催日：令和5年12月20日(水)

会場：ウェスタ川越

参加者：64人

(イ) 市民センター管内地区戦没者追悼式

開催日：令和5年9月～11月の間

会場：地区毎に実施

② 在宅高齢者等給食サービス事業の充実

一人暮らし高齢者等の健康の保持、安否の確認や交流を行いながら在宅の生活を支える給食サービス事業を行った地区社協に対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 16の地区社協

地区社協	食数	種別	回数	対象者	給食調製方法	助成額(円)
第1地区	690	配食	48	30	買上げ (社会福祉施設)	255,300
第7地区	366	配食	3	122	買上げ	135,420
第8地区	231	会食	7	33	買上げ (社会福祉施設)	85,470
第9地区	2,280	配食	12	190	買上げ	843,600
第10地区	1,320	配食	24	55	買上げ (社会福祉施設)	488,400
第11地区	700	配食	10	70	買上げ (社会福祉施設)	259,000
芳野地区	279	配食	12	24	買上げ (社会福祉施設)	103,230
古谷地区	348	会食	10	20	手作り	74,000
南古谷地区	792	会食 配食	17	50 45	手作り 買上げ (社会福祉施設)	293,040
高階地区	2,605	配食	12	246	買上げ	963,850
福原地区	600	配食	12	50	買上げ	222,000

					(社会福祉施設)	
霞ヶ関地区	1,800	会食	24	102	買上げ (社会福祉施設)	666,000
霞ヶ関北地区	545	配食	11	70	買上げ	201,650
名細地区	2,666	配食	12	250	買上げ	986,420
山田地区	483	配食	10	50	買上げ	178,710
川鶴地区	289	配食	4	70	買上げ	103,600
合計	15,994			1,477		5,859,690

※食数は、地区社協負担の食数（157食）を含む。

③ プラン事業の促進

- ・ 第1地区社協
いもっこ体操教室（各自治会館）
毎月1回実施 参加者：延べ600人
- ・ 第2地区社協
いもっこ体操・介護予防教室（石原町公民館、六塚会館、仲町自治会館、幸町自治会館）
毎月1～2回実施 参加者：延べ920人
- ・ 第4地区社協
いきいき体操・絵手紙教室、グラスアート（大手町自治会館、三久保町自治会館、松江一丁目自治会館、松江町二丁目自治会館、元町一丁目自治会館、伊佐沼新町自治会館）
毎月1回実施 参加者：延べ1,000人
- ・ 第5地区社協
いもっこ体操、講話（小仙波町自治会集会所、西小仙波町一丁目自治会集会所）
毎月2回実施 参加者：延べ659人
- ・ 第6地区社協
いもっこ体操、介護予防教室
（脇田町会館、クラッセ、蔵里）
毎月1～2回実施 参加者：720人
- ・ 第7地区社協
いもっこ体操、リズム体操等（各自治会館）
毎月1～2回実施 参加者：107人
- ・ 第8地区社協
いもっこ体操、講座
（岸町一丁目自治会館、岸町二丁目自治会館、岸町三丁目自治会館）
毎月2回実施 参加者：1,320人
- ・ 第9地区社協

いもっこ体操、リズム体操等（旭町1丁目自治会集会所）

毎月4回実施 参加者：延べ433人

- ・第10地区社協

友愛訪問事業のサポートとして見守り活動等を実施

参加者：延べ100人

- ・第11地区社協

いもっこ体操、健康イベント（各自治会館）

毎月1～2回実施 参加者：3,635人

- ・芳野地区社協

いもっこ体操（北田島自治会センター、谷中集落センター、石田本郷集会場、西門集会場、鴨田中内路集会場、山田集会所）

毎月1～2回実施 参加者：延べ1,204人

- ・南古谷地区社協

いきいきサロン（各自治会館）

毎月1回実施 参加者：延べ3,211人

- ・名細地区社協

ふれあいサロン、いもっこ体操（各自治会館）

参加者：延べ1,636人

(3) 福祉基金拠点区分

基金等効率的な資産の運用

基金積立総額：255,936,093 円

ア 資金運用

理事会で資金運用規程、資金運用方針を定め、国債等で運用した。

- ・利付国債第 333 回（10 年） 40,000,000 円＜H26.3 購入＞3 月 20 日満期
- ・共同発行市場公募地方債189 回(10 年)40,000,000 円＜H30.12 購入＞継続中
- ・利付国債第 174 回（20 年） 98,797,744 円＜R3.2 購入＞ 継続中

イ 運用益の活用

- ・運用益 724,000 円
- ・運用益活用額 2,340,000 円

(4) 共同募金配分金事業拠点区分

埼玉県共同募金会から令和5年度配分金として24,652,000円（一般募金配分金9,119,000円、歳末募金配分金15,533,000円）の配分を受けた。

① 一般募金配分金事業

ア 川越市社会福祉大会の実施（コ縮小） 【再掲】

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して、表彰及び感謝の意を表すとともに地域福祉の強化や市民参加によるボランティア活動の推進を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をとりながら式典を執り行った。

・テーマ：「人と人とのつながりを深め だれもが自分らしく いきいきと暮らせるまち 川越」

・会場：川越市やまぶき会館

・参加者数：222人

・大会会長表彰 65人、10団体

・大会会長感謝 56人、14団体

・大会アトラクション（事例発表）

テーマ：埼玉県の「こどもの居場所づくり」について

発表者：埼玉県福祉部少子政策課 牧野氏

チームひだまり 会長 上叢氏

川越子ども応援パントリー 代表 時野氏

イ 社協だよりの発行 【再掲】

社協だよりを6回発行し全戸配布した。

総部数 1,011,649部

号数	発行日	号数	発行日
245号	6月1日	248号	12月1日
246号	8月1日	249号	2月1日
247号	10月1日	250号	4月1日

ウ 子育てサロンまつりの開催

川越市民生委員児童委員協議会連合会主任児童委員部会と共催で、子育てサロンまつりを開催した。

開催日：令和5年6月19日（月）

会場：総合福祉センター2階体育室

参加者：0歳から保育園及び幼稚園入園前の子どもと保護者 71組

エ 地区別福祉懇談会の開催及び支援

地区社協で開催した地区別福祉懇談会において、災害時や一人暮らし高齢者等の支え合い、助け合い活動について及び地区別福祉プランの評価等についての話

し合い等の開催を支援した。

地 区	開催日	会 場	人数
第 1 地区	1月20日	宮元町自治会館	20
第 2 地区	3月17日	六塚会館	60
第 5 地区	9月25日	小仙波町集会所	33
第 6 地区	2月20日	脇田町会館	20
第 11 地区	2月23日	新宿町5丁目自治会集会所	38
芳野地区	7月11日	芳野公民館	28
南古谷地区	12月20日	東部地域ふれあいセンター	44
高階地区	2月24日	諏訪町集会所	24
大東地区	12月、2月	大東市民センター（コ中止）	-
名細地区	2月3日	名細公民館	71
川鶴地区	1月20日	川鶴公民館	44
合 計	10地区、10回	10か所	382

オ 福祉協力員等の支援

地域福祉の更なる充実を図るため、地区社協が福祉協力員及びボランティアの育成を行うとともに、福祉協力員を登録し、日常的な見守り活動と地域福祉支援体制づくりを推進していく活動等の支援と助成を行った。

- ・福祉協力員数：408人
- ・実施地区社協

（補助金：1会場につき15,000円、活動事務費として年5,000円）

地区社協	開催日	内 容
第 4 地区	7月31日	疑似体験を通してボランティアの必要性について学ぶ
	9月5日	疑似体験を通してボランティアの必要性について学ぶ
第 10 地区	7月23日	「川越市社会福祉協議会について」
	2月19日	「地域の助け合い活動について」 「第10地区の助け合い活動団体について」 「助け合い体験ゲーム」
第 11 地区	9月27日	研修会、懇談会
	3月23日	人生会議講座
大東地区	通年	自治会内で見守り活動及び安否確認の推進
名細地区	11月10日	救急医療の取組について 暮らしやすい地域づくりに向けて

川 鶴 地 区	2 月 17 日	「心と心を繋いで～盲導犬との暮らしから学んだこと、伝えたいこと」
---------	----------	----------------------------------

カ 地区社協還元金

地区社協活動を推進する事業活動費として、赤い羽根共同募金の実績額に応じた配分金を地区社協に助成した。

	令和 5 年度	参考 (令和 4 年度)
金 額	4,594,000 円	4,766,500 円

キ 一人暮らし高齢者集い事業の促進

地域において、温かな人間関係とともに生きるコミュニティづくりを促進するため、高齢単身者と地区社協、自治会、民生委員児童委員、ボランティア等がふれあう事業に対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 12 の地区社協 (補助金：一人につき 800 円)

地区社協	開催日	参加者 (人)	地区社協	開催日	参加者 (人)
第 2 地区	11 月 8 日	14	第 11 地区	9 月 18 日	333
第 3 地区 (野田町 一丁目)	5 月 28 日	19	芳野地区	6 月 16 日 11 月 1 日 3 月 1 日	36
第 3 地区 (野田町 二丁目)	9 月 18 日	15	南古谷地区	10 月 24 日	15
第 3 地区 (今成)	11 月 13 日	21	高階地区 (寺尾)	9 月 3 日	89
第 3 地区 (上野田町)	2 月 7 日	20	高階地区 (五ツ又)	9 月 17 日	90
第 4 地区	3 月 10 日	55	高階地区 (稻荷町)	12 月 13 日	20
第 5 地区	11 月 22 日 11 月 25 日	45	福原地区	2 月 29 日	279
第 7 地区	9 月 3 日	122	大東地区	10 月 26 日	200
第 8 地区	2 月 23 日	70	霞ヶ関北	1 月 25 日	86
第 9 地区	10 月 26 日 10 月 27 日 10 月 29 日 11 月 17 日 11 月 23 日 2 月 28 日	108	名細地区	9 月～3 月	94

第 10 地区	11月19日	207	川鶴地区	6月13日	50
	11月19日				
	11月23日				
	～27日				
	11月24日				
	11月25日				
	11月27日				
	11月29日				
	11月30日				

ク 緊急連絡カード事業

近隣助け合い見守り活動の推進事業のひとつとして、65歳以上の一人暮らしの方を対象とした緊急対応のシステムづくりの普及に努めた。

・実施 22の地区社協 (単位：人)

地区社協	対象者	地区社協	対象者	地区社協	対象者
第 1 地区	318	第 2 地区	87	第 3 地区	383
第 4 地区	118	第 5 地区	211	第 6 地区	201
第 7 地区	374	第 8 地区	82	第 9 地区	245
第 10 地区	168	第 11 地区	183	芳野地区	11
古谷地区	112	南古谷地区	169	高階地区	926
福原地区	375	大東地区	484	霞ヶ関地区	335
霞ヶ関北地区	367	名細地区	537	合 計	5,900
山田地区	141	川鶴地区	73		

ケ 見守りマップ作成の支援

一人暮らし高齢者や障害のある方等の要援護者を把握する要援護者マップを整備した。

コ 法外援護旅費の補助

内 容	件 数	金額 (円)
補 助	9	4,500

サ 世代間交流事業の促進

地域住民の希薄になりがちな人間関係に対し、各世代がお互いにふれあうことで理解と思いやりの心を醸成し、住みよい福祉のまちづくりを目的とした活動に助成し、世代間交流を促進した。

・実施 16地区社協 (補助金：1地区 50,000円/年間)

地区社協	開催日	内 容 () は開催場所	参加者(人)
第 1 地区	8 月	盆踊り (神明町)	1,060
	8 月	夏の夕べ (宮下一丁目)	
	10 月	宮本まつり (宮元町)	
	12 月	餅つき大会 (宮下町 2 丁目)	
	12 月	餅つき大会 (城下氷川町)	
第 3 地区	9 月 24 日	3 世代グラウンドゴルフ大会 (泉小学校)	194
	9 月 30 日	3 世代グラウンドゴルフ大会 (今成小学校)	
第 4 地区	11 月 19 日	第 4 地区まつり (川越小学校)	204
第 7 地区	通年	盆踊り、神社清掃など (各自治会)	885
第 8 地区	3 月 17 日	グラウンドゴルフ (滝ノ下公園)	45
第 9 地区	8 月	盆踊り	100~200
	10 月	川越祭り (各自治会館)	
第 10 地区	6 月 18 日	グラウンドゴルフ大会 (月越小学校)	166
第 11 地区	11 月 18 日	地域ふれあいまつり (新宿小学校)	1,500
芳野地区	5 月 28 日	ごみゼロ運動 (中老袋自治会館)	延べ 1,439
	10 月 29 日	ごみゼロ運動 (中老袋自治会館)	
	7 月 9 日	子ども神輿 (鍛冶屋敷集会所)	
	7 月 9 日	お神輿 (大下公民館)	
	7 月 9 日	子ども神輿 (鴨田八幡神社)	
	7 月 9 日	夏祭り (鹿飼公民館、地区内)	
	7 月 9 日	子ども神輿 (西門公園)	
	7 月 9 日	子ども神輿 (中内路集会所前)	
	7 月 24 日-28 日	ラジオ体操 (中菅間集会所前)	
	8 月 21 日-25 日	ラジオ体操 (中菅間集会所前)	
	7 月 22 日-31 日	ラジオ体操 (鴨田八幡神社)	
	7 月 29 日-8 月 7 日	ラジオ体操 (鍛冶屋敷集会所)	
	7 月 31 日-8 月 4 日	ラジオ体操 (西門公園)	
	8 月 21 日-25 日	ラジオ体操 (西門公園)	
	8 月 15 日-28 日	ラジオ体操 (鹿飼公園)	
8 月 16 日-19 日	ラジオ体操 (北田島自治会センター前)		
8 月 16 日-19 日	ラジオ体操 (石田本郷集会所前)		

	8月17日-26日 9月3日 10月29日 10月29日 10月29日 12月3日	ラジオ体（伊佐沼公民館内） ごみゼロ運動（谷中地区内） ごみゼロ運動（北田島自治会センター前） ごみゼロ運動及びハロウィン ごみゼロ運動（中内路集会所前） 集会所清掃（下菅間集会所）	
古谷地区	11月5日	グラウンドゴルフ大会 （上江橋運動公園）	340
南古谷地区	7月8日 11月18日	七夕祭り（LS サントレッセ） トランプ、ゲーム等（宮本公民館）	461
高階地区	7月29日、30日	「ザ・夏祭り」（高階南小学校）	3,000
大東地区	7月29日	納涼大会（菅原神社）	550
霞ヶ関北地区	11月12日	会食、アトラクション （霞ヶ関北公民館）	350
名細地区	10月8日	ふれあいスポーツ大会（広谷小学校）	97
川鶴地区	5月27日 7月29日 8月5日	脳トレ交流（川鶴公民館） 夏祭り実施（川鶴公民館、三芳野 団地広場、笠幡公園）	1,100

② 歳末たすけあい配分金事業

ア 歳末たすけあい援護事業の実施

(ア) 歳末たすけあい援護金配分委員会の開催

令和5年6月26日（月）

(イ) 要援護世帯等への慰問事業の実施

在宅の要援護世帯、市内民間福祉施設へ援護金を贈り激励した。

種 別		基準額 （円）	対象者数 （人）	配分額 （円）
要援護世帯	低所得世帯	10,000 +世帯人数加算 +証明書類手数料	94	1,056,300
	重度要介護高齢者	2,000	93	186,000
	重度障害児者	2,000	2,435	4,870,000
市内民間福祉施設		20,000	47 施設	940,000
合 計			2,669	7,052,300

イ 社協だよりの発行 【再掲】

社協だよりを6回発行し全戸配布した。

総部数 1,011,649部

号数	発行日	号数	発行日
245号	6月1日	248号	12月1日
246号	8月1日	249号	2月1日
247号	10月1日	250号	4月1日

ウ 令和5年度「福祉の市」の開催

高齢の方や障害のある方の製作品等を展示することにより、製作意欲と生きがいを高め、社会参加の場を拡大するとともに、市内福祉施設の活動等を周知する機会とする。また、事業を通じて市民の地域福祉に対する意識啓発を図る。

- ・開催日：令和6年2月4日（日）
会 場：ウェスタ川越 交流広場

エ 在宅介護者リフレッシュ事業の実施支援

在宅介護者の方に心身のリフレッシュ等を図ることを目的とした川越市在宅介護者友の会の事業に対して、実施支援を行った。

- ・日帰り旅行
開催日：令和5年11月28日（火）
場 所：青梅市ままごと屋等
- ・介護研修会やサロンを定期的実施

オ 在宅障害児招待事業の実施

日頃、外出する機会の少ない障害児及びその家族を対象に、家族間の交流を深めるため芋ほり事業を開催した。

- ・開催日：令和5年11月3日（金）
会 場：山田園
参加世帯：103世帯

カ 友愛訪問事業の促進

地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、ボランティアや近隣住民が訪問活動を行うことにより、温かい人間関係を築き、共に生きるコミュニティづくりをするための活動に助成した。

- ・実施：21の地区社協（補助金：1地区 60,000円／年間）

地区社協	内 容
第1地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月1回） 12月⇒障害者に見舞金の配付
第2地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意

	呼びかけ等（月 1 回） 7 月、10 月、3 月に粗品を配布
第 4 地区	安否確認を兼ねて、バースデー訪問を実施しお茶菓子とバースデーカードを配布（月 2 回） 1 月⇒お茶と手作り絵馬を配布
第 5 地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ、市や警察等への情報提供（月 1 回） 年 2 回粗品を配付
第 6 地区	安否確認、健康状態の把握、市や警察等への情報提供（月 1 回）
第 7 地区	安否確認、健康状態の把握等（月 1～2 回）
第 8 地区	安否確認（月 1 回） 適宜、情報交換会を実施
第 9 地区	安否確認、生活相談、防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 年 2 回おしゃべりサロン実施
第 10 地区	安否確認、健康状態・生活状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 年末年始にタオルを配付
第 11 地区	70 歳以上一人暮らし高齢者を対象に訪問し安否確認（月 1 回） 年 1 回啓発品の配付
芳野地区	75 歳以上の高齢者を対象に訪問し安否確認（月 1 回） 12 月に生花を配布
古谷地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 2 月に記念品の配付
南古谷地区	安否確認、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月 1 回）
高階地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月 1 回）
福原地区	65 歳以上の一人暮らし、高齢者夫婦、寝たきり高齢者等を対象に見守り（月 1 回）
大東地区	安否確認、健康状態の把握、生活相談、詐欺や防犯への注意呼びかけ等（月 1 回以上） 塩分チャージタブレットとウェットティッシュを配布
霞ヶ関地区	安否確認、健康状態の把握等（月 1 回）
霞ヶ関北地区	70 歳以上一人暮らし高齢者を対象に近況等の確認、詐欺や防犯への注意呼びかけ（月 1 回）

	7月及び12月には粗品を配布
名細地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺への注意呼びかけ（月1回）
山田地区	安否確認、健康状態の把握等（月1回）
川鶴地区	安否確認（月1回） 7月及び8月は、ポカリスエットを配布して熱中症予防の呼びかけ 年末年始は、お菓子を配付

キ 親子リフレッシュ事業

市内のこども及び子育て世代を対象に金魚釣り体験や e スポーツ体験を実施し、親子の絆や地域交流を深めた。

なお、事業の開催にあたり、公益財団法人日本釣振興会及び学生ボランティアの協力を得た。

- ・開催日 令和6年3月29日（金）
- ・会場 ウェスタ川越交流広場
- ・参加人数 約300人

ク 見舞い激励事業の実施

火災等による被災世帯への見舞い事業の実施

種別	件数	金額（円）	種別	件数	金額（円）
全焼	4	80,000	水損	0	0
半焼	0	0	死亡	1	20,000
半壊	0	0	合計	5	100,000

(5) ボランティアセンター事業拠点区分

① 福祉教育の推進

ア 福祉教育指導者との連携

(ア) 市内小中学校の福祉体験学習への協力

車いすの介助や盲人ガイド、手話、点字等の実技及び福祉講話を通じて、障害者や高齢者への理解を深め、地域福祉の担い手となる次世代へ社会福祉意識の高揚を図った。

〈実施学校数〉

・小学校 24校 ・中学校 3校 ・高等学校 1校

(内訳)

㊦ 福祉体験実技への講師の派遣

・小学校 延べ 50回 参加者 4,063人
 ・中学校 延べ 10回 参加者 617人
 ・高等学校 延べ 1回 参加者 20人

㊧ 福祉講話への講師の派遣

・小学校 延べ 16回 参加者 1,324人
 ・中学校 延べ 0回 参加者 0人
 ・高等学校 延べ 1回 参加者 250人

(イ) 認知症サポーター養成講座

認知症高齢者やその家族を支援する者の養成を目的に、市内小中学校と高等学校を対象に認知症に対する正しい知識の普及、啓発を行った。

〈実施学校数〉

・小学校 3校 ・中学校の保護者 1校 ・高等学校 1校

(内訳)

・小学校 3校 参加者 202人
 ・中学校の保護者 1校 参加者 28人
 ・高等学校 1校 参加者 14人

(ウ) ボランティア体験学習への協力

地域や小中学校でのボランティア体験学習へ福祉機器の貸出しを行った。

機器等名称	保有数	件数	機器等名称	保有数	件数
アイマスク	77	0	福祉ビデオDVD	15	3
白杖	28	23	車椅子	18	24
点字器	119	11	ボッチャ	3	2
高齢者疑似体験セット	15	16	福祉図書	1	4
				合計	83

② ボランティア活動の支援

ア ボランティア養成講座の充実

ボランティア活動を始めるきっかけ作りと地域で活躍できるボランティアを

発掘、育成することを目的として各種講座を開催した。申込方法を従来の往復はがきに加え、電子フォームでも申込みできるようにした。

講座名	開催期間	回数	参加人数	延べ人数
聴覚障害者支援 ボランティア養成講座	令和5年9月2日～ 11月11日	10	20	168
点字ボランティア 養成講座	令和5年4月18日～ 6月20日	10	12	116
傾聴ボランティア養成 講座	令和5年11月20日～ 12月18日	5	25	145
オンライン入門講座 フォローアップ座談会	令和5年5月12日	1	4	4
ボランティア入門講座	講義：令和6年3月7日 体験：令和6年3月11日～ 3月27日	1	7	7
		8	8	8
福祉体験学習サポーター 養成講座（共催）	令和5年11月17日～ 12月15日	3	10	30
ボランティアアドバイザー 養成講座	令和6年1月25日～ 2月28日	4	9	33

イ ボランティア体験プログラム等の実施

(ア) ボランティア体験プログラム

学生の福祉への関心を高めることを目的に、施設での体験や自宅での制作活動や地域での交流体験（子ども食堂や環境ボランティア団体）等のボランティア活動を実施した。また、施設からの活動者へのメッセージを社協ホームページに掲載した。

- ・期 間：令和5年7月22日～8月31日 41日間
- ・対 象：市内在住、在学の小学校4年生以上の学生
- ・参加者数：延べ 144人、実人数 124人

参加者延べ数内訳：施設での体験 72人、地域での交流体験 21人
制作活動 49人、寄付活動 2人

- ・プログラム数：33施設、5団体、60メニュー

(イ) 「ふ・く・しの街川越」探究プロジェクト 2023

学生から見るふだんのくらしのしあわせ

次世代の地域福祉の担い手である高校生以上の学生が川越市内を探究し、自分も含めた暮らしやすい街とは何かを考えてもらい、地域福祉への関心をもち、共生社会を考えるきっかけづくりを目的に実施した。

- ・期 間：令和5年8月7日～令和6年2月12日
- ・対 象：市内在住、在学の高校生
- ・参加者数：延べ 50人、実人数 10人

ウ ボランティアセンター、ボランティアビューローの充実
安心してボランティアができる環境づくり

- ・ボランティアアドバイザーの配置（コ縮小）

名称	人数	活動日	時間	活動形態	開設日数
ボランティア室	5	火・水・金・土	10時 ～ 15時	2人制 交代	197日
ビューロー西	5	水・土			99日
ビューロー南	5				96日
ビューロー保健センター	5	水・金			96日

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、縮小開設となった。

エ ボランティアリーダーの養成

ボランティアアドバイザー定例会

各ボランティアビューローのボランティア情報の共有や相談業務の課題について意見交換を行った。

- ・開催日：毎月最終月曜日

オ ボランティア登録の促進

(ア) ボランティア相談、登録、調整等の推進

- ・ボランティア登録者

種別	登録数	前年比
グループ（会員数）	163 団体（2,828 人）	+11 団体（+41 人）
個人	290 人	+67 人

- ・活動希望者の相談業務の実施

区分	ビューロー ボランティア 室	ビューロー 西	ビューロー 南	ビューロー 保健センター	合計
活動相談（件）	272	85	47	49	453
派遣相談（件）	2,188	211	329	378	3,106
派遣状況（人）	3,012	1,767	756	624	6,159

- ・各ボランティアビューロー登録ボランティア学習会及び交流会の開催（コ縮小）

ボランティアビューロー西（登録ボランティア交流会）

- ・開催日 令和5年4月27日
- ・参加者 6人

ボランティアビューロー南（登録ボランティア研修会）

- ・開催日 令和5年10月13日
- ・参加者 11人

ボランティアビューロー保健センター（登録ボランティア交流会）

・開催日 令和5年10月24日

・参加者 43人

ボランティアビューロー西（登録ボランティア新年会）

・開催日 令和6年1月22日

・参加者 25人

ボランティアビューロー南（登録ボランティア交流会）

・開催日 令和6年2月16日

・参加者 17人

ボランティア室（登録ボランティア交流会）

・開催日 令和6年3月4日

・参加者 17人

(イ) 施設とボランティアアドバイザーとの意見交換会の開催（コ縮小）

ボランティアビューロー南

・開催日 令和5年6月23日

・参加施設数 2施設

ボランティアビューロー西

・開催日 令和5年10月23日

・参加施設数 9施設

(ウ) その他環境の整備

㊦ 登録ボランティアグループ活動費の助成

・助成グループ数：27グループ

・助成金額：395,400円

※算出方法（@380円×会員数）＋10,000円／グループ

㊧ ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、保険への加入促進を行った。

・加入者数：3,366人

・事故報告：13件

㊨ ボランティア行事用保険の加入受付

ボランティア団体等の主催の行事中の事故に備えた保険の加入の受付等を行った。

・加入受付：222件

・事故報告：2件

③ 社会貢献活動等の促進

ア ボランティア活動における学校との連携

・学生のボランティア活動について市内の高校と連携し、ボランティア情報の周知、活動依頼の調整を行った。

・学校数 2校

・活動者数 延119人

・市内学校との協定

地域福祉活動に関する包括連携協定の締結

- ・締結先 学校法人KTC学園おおぞら高等学院川越キャンパス
- ・内 容 地域福祉活動やボランティア学習及び福祉体験学習に関する様々な活動に参画し、豊かな福祉観や多様性を尊重した豊かなまちづくりを促進し、相互に地域社会の持続的な発展や新たな価値の創造に貢献する。
- ・締結日 令和5年11月29日

イ 企業等からの物品寄付の受付、相談

企業等からの食料品や日用品等の物品寄付の相談、受付、寄付物品の活用先等を調整した。

- ・受付件数 62件

④ 災害に備えた支援

ア 市内団体との協定

災害発生時、災害ボランティアセンターの運営体制等を整え、迅速に復興支援活動に繋げるため、協定を締結した。

地域福祉推進のための協力体制に関する包括連携協定の締結

- ・締結先 市内各ライオンズクラブ
- ・内 容 災害ボランティアセンターの運営に係わる人員の派遣や資機材の提供、被災地支援のボランティア参加等
- ・締結日 令和5年4月27日

イ 災害ボランティア登録制度の促進

- ・登録数 個人22人 / 5団体

ウ 人間ブロック内市町社協災害ボランティアセンター担当者の情報交換

近隣市町社協で災害発生時における、災害ボランティアセンターの運営や復興に向けた生活支援等での広域連携を図るため、情報交換、研修を行った。

内容	実施日	参加社協
座談会	令和5年9月7日	12社協
研修	令和6年3月1日	11社協

エ 災害ボランティアセンター運営のための備品等の整備

災害時において円滑に災害ボランティア活動ができるように、備品を整備した。

【スタッフ50人及びボランティア400人分を想定】

ヘルメット、防じんマスク、ゴーグル、ボランティア用ベスト、トランシーバー、一輪車、ポータブル電源、送風機、ダクトなど 約2,000点

オ 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練、講座・研修会の開催

(ア) 災害ボランティア登録者向け研修会

実際の災害ボランティア活動と災害ボランティアセンターの理解を深めてもらうこと、及び災害ボランティアに興味のある学生と地域のボランティアとの交流を目的に開催した。

- ・期 間：令和5年8月10日・15日
- ・対 象：川越市災害ボランティア登録者（個人・団体）
- ・参加者数：延べ20名

(イ) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練及び災害ボランティア研修会

市内において災害が発生した際に、社協が担う災害ボランティアセンターの運営を迅速かつ効果的に行い、被災者支援に繋げるための訓練及び災害ボランティアを体験することで被災者支援が迅速に行えることを目的に開催した。

- ・実 施 日：令和5年11月5日
- ・会 場：大東西中学校
- ・対 象：市内協定先・川越市災害ボランティア登録者、市社協職員
- ・参加者数：39名

(6) ファミリー・サポート・センター事業拠点区分

ファミリー・サポート・センター事業の実施

会員相互による育児の援助活動を促進することにより、仕事と育児を両立できる環境の整備を行うとともに、地域における子育て支援を図り、児童及び勤労者等の福祉の増進を図った。

ア 会員加入の促進

- ・入会説明会の実施 随時

イ 援助活動の充実

- ・提供会員講習会の開催 3回
受講者数：18人
登録者数：14人
- ・会員交流会 1回
参加者数：1名
- ・フォローアップ講習会 2回
受講者数：20人
- ・会報誌の発行 1回（9月）

ウ 会員の登録状況

会員別	登録者数	前年比
提供会員	452	△19
依頼会員	1,137	△54
両方会員	29	2
合計	1,618	△71

エ 援助活動の状況

会員別	実活動/実利用数	前年比
提供会員（実活動）	97	△8
依頼会員（実利用）	184	28
両方会員（実活動）	3	△1
（実利用）	0	0

- ・派遣回数：5,274回 派遣時間：4,801時間17分

オ 援助活動内容

援助活動内容	回数
保育所、幼稚園の登園前の預かり	56

保育所、幼稚園の送り	200
保育所、幼稚園の迎え	194
保育所、幼稚園の帰宅後の預かり	479
学童の放課後の預かり	21
放課後児童クラブ終了後の迎え	302
放課後児童クラブ終了後の預かり	403
子どもの習い事等の場合の援助	1,701
保育所、学校等休み時の援助	37
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	213
保護者等の求職活動中の援助	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	19
保護者等の買い物等外出の場合の援助	80
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	18
他施設への送り	605
学童の留守宅送り	464
学童の朝の送り	397
在宅保育の援助	85
合 計	5,274

(7) 通所介護事業拠点区分

① 通所介護事業の実施

介護保険の要介護認定で要介護状態及び要支援状態に認定された高齢者等に対して、その有する能力に応じて自立した日常生活ができるよう、機能訓練、日常生活上の世話、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

また、新規利用者に関する家庭訪問及び利用者家族等への生活状況の聞き取りなど利用者の機能回復や利用ニーズの把握に努めた。

さらに、近隣の包括支援センター、居宅介護支援事業所、病院等へ当事業所の取り組み内容など積極的に周知活動を行い利用者の増員に努めた。

ア 利用状況

実利用者数：90人 延べ利用者数：4,428人

	介護予防・日常生活総合事業通所型サービス			通所介護事業					合計
	事業対象者	要支援		要介護					
		1	2	1	2	3	4	5	
延べ利用者数	287	150	253	1,891	996	616	175	60	4,428
新規利用者数	0	4	2	12	8	0	3	1	30

イ 通所介護事業の推進と他事業所との連携及び事業周知の強化

- ・包括支援センターケア会議等への参加や介護支援専門員との情報共有
くらすぐりの会：6回（5/18、7/20、9/21、11/16、1/18、3/21）
- ・利用者の担当介護支援専門員等との情報共有については、月1回以上介護支援計画等、適宜利用者の状況等について電話やファックスにより情報の共有：利用者90人
- ・市内病院、老人保健施設、居宅介護事業所等への周知活動：4施設

ウ 研修会の実施及び参加

介護技術の習得、専門性の確保を目的に外部研修や職員間で研修を行った。

名 称	参加者
これからの介護保険研修	1
文書作成研修	1
感染症予防研修	1
介護D x 研修	1
Z世代研修	1
L I F E 研修	1
安全運転講習	20
災害ボラ研修	1
B C P 研修	1
O J T 研修	1

職員研修（運転・リフトについて）全2回	3
職員研修（医療的ケアに関する）	23
職員研修（福祉職員の基本的スタンス）	23

② 内部検討員会の実施

今後の介護保険事業に対する方向性を検討するための検討会を実施した。

- ・開催日：令和5年7月7日（1回目）
令和6年2月27日（2回目）

(8) 地域活動支援センター事業拠点区分

地域活動支援センター事業の実施

日常生活を営む際に支障がある障害者等に対して、機能訓練、社会適応訓練、更生相談、介護方法の指導、創作的活動、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

また、新規利用者には、家庭訪問を行い利用者家族等から生活状況の聞き取りを行うとともに、利用者に関する支援について相談支援事業所等の関係機関との情報共有の機会を設け、利用者の機能回復や利用ニーズの把握に努めた。

ア 利用状況

実利用者数：62人、延べ利用者数：3,094人

	1級	2級	3級	4級	6級	知的	精神	医療	合計
延べ利用者数	1,102	1,025	320	61	43	119	365	59	3,094
新規利用者数	4	1				1	5	1	12

※身体障害者手帳のほかに重複して手帳を所持している利用者については、身体障害者手帳の等級で集計

イ 事業利用者に関する関係機関との情報共有

障害者相談支援センター、市社協CSWとの利用者の生活課題等の共有の機会として、ケア会議、担当者会議等へ参加 31回

ウ 研修会の実施及び参加

介護技術の習得、専門性の確保を目的に外部研修や職員間で研修を行った。

名 称	参加者
障害のある方のための福祉用具の有効活用研修	1
障害のある方への口腔ケア研修	1
文書作成研修	1
中堅職員キャリアパス研修	1
B C P 研修	1
安全運転講習	14
災害ボラ研修	1
O J T 研修	1
能登半島地震の被災地支援者から学ぶ勉強会	4
職員研修（運転・リフトについて）	3
職員研修（福祉職員の基本的スタンス）	10
職員研修（医療的ケアに関する）	10

エ 障害者と高齢者のデイサービス事業との交流

通所介護が行うアクティビティに地域活動支援センター利用者が参加し、

交流を図った。

- ・ゲームや音楽鑑賞などレクリエーション等：延べ21人
- ・健康マージャン：延べ61人

(9) 福祉サービス利用援助事業拠点区分

福祉サービス利用援助事業の実施

県社協から福祉サービス利用援助事業の委託を受け、高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方へ、福祉サービス利用の手続きや日常生活に必要な金銭管理等の支援を行った。

ア 支援

・問合せ、相談 (単位：件)

対象区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合計
問合せ	63	33	42	32	170
相談	31	21	27	0	79
合計	94	54	69	32	249

・延べ契約者数、契約廃止者数、年度末契約者数 (単位：件)

対象者	前年度(継続)	新規	解約	年度末契約数
高齢者等	11	4	6	9
知的障害者	13	3	2	14
精神障害者	17	5	2	20
その他	3	0	0	3
合計	44	12	10	46

イ 研修

専門員、生活支援員の資質の向上を目的に研修を行った。

- ・全社協主催 専門員実践力強化研修会
10月18日 配信 対人援助の基礎知識・事例検討ほか
- ・県社協主催専門員・生活支援員基礎研修
5月22日 彩の国すこやかプラザ 権利擁護の理解
6月16日 彩の国すこやかプラザ 専門員業務の進め方
- ・県社協主催生活支援員専門研修
12月26日 ウェスタ川越 県内の日常生活自立支援事業の取組状況
- ・県社協主催専門員専門研修会
1月24日 彩の国すこやかプラザ 発達障害の理解と日常生活自立支援事業における利用者対応
- ・県社協地域権利擁護推進会議（第3ブロック）研修会
7月4日 日高市社協 事例検討及び情報交換
- ・県社協主催専門員会議
2月20日 彩の国すこやかプラザ 年度末の事務手続きほか

(10) 生活福祉資金貸付事業拠点区分

① 生活福祉資金等の貸付（県社協受託事業）

低所得世帯に対する貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額（円）
生活福祉資金（特例貸付除く）	25	28,806,000

② 特例貸付（県社協受託事業）

特例貸付の償還猶予者に対し、生活状況の把握を行った。

資金種別	件数
緊急小口資金	79
総合支援資金	69
合 計	148

(11) 小口資金貸付事業拠点区分

① 小口資金の貸付

低所得世帯等の生活の安定を図るため、次の貸付を行った。

資金種別	件数	金額 (円)
福祉資金	0	0
安定資金	407	9,116,000
合 計	407	9,116,000

② 滞納者に対する督促状発送

資金種別	11月発送(件)	住所調査(件)
福祉資金	19	3
安定資金	296	27
合 計	315	30

③ 償還、未償還（欠損分を除く）

資金種別	償 還		未償還	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
福祉資金	0	0	0	0
安定資金	283	6,761,000	124	1,890,000
合 計	283	6,761,000	124	1,890,000

※参考

- ・ 昭和50年度から令和5年度まで貸付等状況（欠損分を除く）

資金種別	貸 付		未償還	
	件数	金額 (円)	件数	金額 (円)
福祉資金	1,295	81,683,920	10	697,000
安定資金	8,480	213,426,945	331	6,070,000
合 計	9,775	295,110,865	341	6,767,000

- ・ 欠損処分の状況

資金種別	件数	金額 (円)
福祉資金	0	0
安定資金	9	195,000
合 計	9	195,000

欠損理由：死亡による

(12) 相談事業拠点区分

心配ごと相談所事業の実施

住民の生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行うために民生委員相当の経験を有する相談員との連携による心配ごと相談所事業を実施した。

- ・相談日 毎週火曜日（祝日・年末年始を除く）
- ・時間 午前10時～午後4時
- ・相談員 3人

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生計	4	健康、保健、衛生	30	障害者（児）福祉	1
年金	1	医療	2	母子福祉・父子福祉	0
職業、生業	3	人権・法律	2	高齢者福祉	4
住宅	6	財産	1	苦情	0
家族	15	事故	0	その他	2
結婚	0	児童福祉・母子保健	1		
離婚	0	教育・青少年	0		
				合計	72

（実相談者数 54 人）

(13) かわごえ友愛センター事業拠点区分

福祉サービスの充実

ア 在宅福祉サービスセンター（かわごえ友愛センター）事業の充実

住民相互の助けあいによる会員制、有償・有料制の家事援助サービスを実施し、在宅で要援護状態にある高齢者や障害者等に対し、協力会員を派遣し、家事援助等の支援を行い、日常生活の向上を図った。

ア) 会員加入の促進

会員募集などの情報を全戸配布の「社協だより」、「ホームページ」に掲載した。申込方法を従来の電話に加え、電子フォームでも申込できるようにしている。

イ) 協力会員学習会及び定例会の開催

かわごえ友愛センター現任協力会員に対し、学習会と定例会を開催した。

開催日	内容	参加者数
3月13日(水)	・スマホ教室 ・定例会（業務連絡、事故注意喚起等）	17

ウ) 友愛センター会員状況

・会員登録状況

会員別	登録者数	前年比
利用会員	384	+34
協力会員	215	+22
賛助会員	36	△12
計	635	+44

・派遣状況

項目	活動状況
実利用人員（人）	175
派遣日数（日）	346
派遣時間（時間）	6,677.5
実派遣人員（人）	93
派遣回数（回）	4,361

・利用状況及び利用者数

利用会員内訳	登録者数	実利用者数
一人暮らしの高齢者	155	62
高齢の夫婦世帯	75	39
高齢者を含む世帯	83	45
認知症	1	0
身体障害児・者	25	10
知的障害児・者	2	1
精神障害児・者	5	3

精神疾患（手帳なし）	8	5
病気・けが等の事由	9	4
ひとり親世帯	3	1
妊産婦・児童	17	4
その他	1	1
合 計	384	175

イ 福祉車両、短期車椅子等貸出事業

(ア) 福祉車両貸出事業

日常車椅子を使用している方や外出の際に車椅子を必要とする方に社会参加の交通手段として、福祉車両の貸出を行った。

- ・車両保有台数：スロープ式軽自動車1台（ダイハツタント）
- ・貸出件数：44件

(イ) 短期車椅子貸出事業

外出時に車椅子を必要とする高齢者や障害児(者)及び福祉団体等に車椅子の貸出を行った。

- ・車椅子保有台数：50台（大人用46台、子ども用4台）
- ・貸出台数：181台 個人179台、団体2台

(14) 生活管理指導員等派遣事業拠点区分

生活管理指導員等派遣事業の実施

介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に対して、要介護状態への進行予防を図るため、日常生活に対する指導と家事援助等のサービスを提供した。

ア 利用状況

- ・実利用者数：15人 延べ利用者数：523人
- ・サービス提供時間数 延べ525時間
内訳：生活管理指導員 80.5時間 生活援助員 444.5時間

イ 職員研修

接遇について
プライバシーの保護について
倫理・法令遵守について
高齢者の健康管理について
感染症予防について
フットケアについて
交通安全研修
緊急時の対応について

(15) 盲人ガイドヘルパー派遣事業拠点区分

盲人ガイドヘルパー派遣事業の実施

重度視覚障害者に盲人ガイドヘルパーを派遣し、社会生活を営む上での外出援助を行い、社会活動の拡大を図った。

ア 登録状況

種 別	登録者数	前年比
盲人ガイドヘルパー	42	1
利用者	60	0
合 計	102	1

イ 派遣実績

派遣件数：582 件 派遣時間数：1,376 時間

ウ 現任研修会の開催

新任盲人ガイドヘルパーに対し、研修会を開催した。

開催日	内容	参加者数
10月18日(水)	・障害者福祉制度、視覚障害等について（座学） ・基本姿勢、手引きの仕方等について（実技） ・事務局からの連絡（登録手続き等）	6

(16) 障害者虐待防止対策支援事業拠点区分

障害者虐待防止対策支援事業の実施

障害者虐待に関する届出の受理、障害者及び養護者に対して、相談及び助言、障害者虐待防止及び養護者に対する支援を行うとともに広報啓発活動を行った。

ア 相談・通報対応件数（実数）

・ 障害者虐待が疑われる通報	46 件
・ 障害者虐待が疑われない通報	19 件
・ その他の通報	6 件
・ 合計通報件数	71 件

イ 障害者虐待防止出張講座の実施

- ・ 研修資料配布：2 回、55 人

ウ 障害者虐待防止センター周知啓発の実施

- ・ チラシ配布：4 回、115 人

(17) コミュニティソーシャルワーカー事業拠点区分

コミュニティソーシャルワーカー事業の実施

市からコミュニティソーシャルワーカー配置事業の委託を受け、各地区2名体制で多機関と連携しながら個別支援を行った。

また、重層的支援体制整備事業において、本会ではアウトリーチ等を通じた継続的支援事業と参加支援事業を担い、重層的支援会議で支援者の支援プラン作成や評価に携わるとともに支援を行った。

ア 圏域別件数

圏 域	対応件数	
	個別支援(件)	地域支援(件)
第1、第2、第4、山田	221	135
第5、第6、第7、第8	420	236
第3、第9、第10	118	83
芳野、古谷、南古谷	140	193
高階	389	145
第11、福原	276	329
大東	73	72
霞ヶ関、川鶴	144	85
霞ヶ関北、名細	261	118
その他	34	128
合 計	2,076	1,524

イ 相談室別件数

相談室	対応件数
東部地域ふれあいセンター	4件
大東市民センター	5件
西後楽会館	6件
ジョイフル	10件
U PLACE	0件
西文化会館（メルト）	2件
合 計	27件

ウ 重層的支援体制整備事業による支援

支援対象者：1名

エ ケアラー・ヤングケアラーの支援

地域住民の身近な相談者である民生委員児童委員と主任児童委員を対象に各地区の定例会で説明を実施した。

- ・「ヤングケアラー支援の現状と関係機関について」

開催日：令和6年3月5日～18日

会場：22地区

参加者：429人

(18) 介護支援いきいきポイント事業拠点区分

介護支援いきいきポイント事業の実施

川越市内在住の65歳以上の高齢者の方が、自身の介護予防を目的に高齢者介護施設等において利用者への支援活動（ボランティア活動）を実施した場合にポイントを付与し、活動の奨励金若しくは川越市の特産品と交換できる事業を実施した。

ア 対象者向け登録者研修会

(単位：人)

開催日	場所	参加者	登録者	新規保険加入者数
4月～3月	社協窓口	38	37	9
合 計		38	37	9
登録者累計			506	

イ 受入機関

(単位：事業所)

	5年度	累計
新規登録事業所数	2	117
実受入事業所数	30	

ウ 活動内容

(単位：人)

① レクリエーション等の指導、参加支援	660
② 施設の催事に関する手伝い（模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露等）	115
③ 散歩、外出、屋内移動の補助	0
④ 話し相手、傾聴、朗読	373
⑤ お茶出し、食堂内での配膳・下膳等の軽微な業務の補助	364
⑥ 施設職員とともに行う軽微かつ補助的な作業（清掃・草刈の補助、洗濯物の整理等）	804
⑦ オレンジカフェに係る傾聴、配膳、レクリエーション指導等の補助	183
合 計	2,499

(19) 生活支援体制整備推進事業拠点区分

地域における支え合いの体制づくりを推進するため、生活支援サービス等の充実及び強化を図った。

① 第1層圏域（市内全域）

第1層生活支援コーディネーターを1名配置した。

ア 地域づくり推進ネットワーク会議の開催

住民主体の福祉活動団体や福祉関係機関、個人ボランティア、行政等を対象に『めぐり逢エールかわごえ』をオンラインとビューイング会場のハイブリッドで開催し、繋がりを作るきっかけづくりを行った。

開催日：令和6年1月21日（日）

会 場：オアシス(配信会場)（ビューイング会場）

参加者：80人

イ 助け合い活動団体によるネットワーク会議の開催

市内で助け合い活動を行っている住民主体の団体を対象に、活動状況等の情報交換会を実施した。

開催日：令和6年1月17日（水）

会 場：ウエスタ川越

参加団体：13団体・19人

ウ 地域の公益的な取組推進研修会の開催

市内の社会福祉法人や福祉事業者を対象に、地域の公益的な取組みについて、意見交換を行った。

開催日：令和6年3月21日（木）

会 場：ウエスタ川越

参加者：7法人・10人

エ 第1層協議体の運営支援

第1層及び第2層生活支援コーディネーターの活動報告を行うとともに委員となっている各団体と情報交換を行った。

オ 保健・医療・福祉の連携

コミュニケアネットワークかわごえ主催の研修会やフォーラムへ参加した。

第11回医療介護フォーラム 令和5年10月29日（日）

カ SC出前講座

令和4年度に作成した助け合い活動の手引きを活用して、生活支援コーディネーターによるたすけあい活動を推進するための出前講座を開始した。

開催日：令和6年2月23日（金）
事業名：第11地区社会福祉協議会福祉懇談会

キ フードドライブの実施

市内で行われたイベント時にフードドライブを実施し、集まった寄付物品等を市内のこども食堂等に配布した。

ク あんしんセーフティネット連絡会

市内で彩の国あんしんセーフティネット事業を担う担当相談員と自立支援機関との連携体制を構築するとともに、生活困窮者支援に必要な知識向上を図ることを目的に連絡会を実施した。

開催日：令和5年7月28日（金）

会 場：オアシス

参加者：6法人・10人

開催日：令和6年3月22日（金）

会 場：オアシス

参加者：4法人・6人

② 第2層圏域（川越市自治会連合会の支会単位）

第2層生活支援コーディネーターを9人配置した。

ア 地区会議への参加等

地域の課題や地域資源を把握するため、各地区で行われる会議等に参加した。また、関係機関と連携しながら、把握した社会資源と要支援者とを繋いだ。

内 容	件数
地区社会福祉協議会会議及び事業等への参加	299回
各地区民生委員・児童委員協議会定例会等への参加	304回
各自治会会議等への参加	76回
サロンへの参加	246回
自主グループへの参加	89回
子どもの居場所への参加	144回
生活支援サービスへの参加	21回
地域包括支援センター関係の会議等への参加	78回

イ シニアeスポーツ普及事業の実施

eスポーツを活用した居場所づくりの支援を行った。

市内延べ44箇所

ウ 立上げ支援を行ったサービスや多世代交流の場の支援

実施団体	内 容	地区
チアアップ彩たま	こどもの居場所づくり	第11地区
ライオンズマンション本川 越第二住人サポート部会	家事支援サービス	第10地区
助っ人クラブみよしの	家事支援サービス	川鶴地区
RELIEUR	サロン	芳野地区

エ 子ども食堂への支援

市民や企業からの子ども食堂等への寄付について、フードバンク川越が主体となった寄付物品分配のしくみを構築した。

オ 地域福祉活動支援補助金の交付

市内の地域活動団体に対し、補助金を交付した。

43 団体 補助金総額 2,496,300 円

(こどもの居場所づくり団体への補助金 600,000 円を含む)

(20) 老人福祉センター西後楽会館事業拠点区分

① 老人福祉センター西後楽会館の管理、運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務を行った。

ア 施設の利用状況

開館日数		295 日
利用者総数		26,090 人
内	男 性	15,174 人
	女 性	10,916 人
訳	個 人	25,488 人
	団 体	(11 団体) 602 人
訳	市内 (公共施設相互利用及び有料者含)	26,083 人
	市 外	7 人
健康相談 (医師・看護師)		834 人
送迎バス		(293 台) 3,389 人
内 訳	老人クラブ等団体	(27 台) 521 人
	地区巡回	(266 台) 2868 人

※公共施設相互利用とは、埼玉県川越市圏まちづくり協議会を構成する川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、川島町、毛呂山町、越生町、日高市（日高市は協議会からは脱退したが相互利用に関しては継続）で、市民と同じように公共施設を利用できるもの。

イ 施設の維持管理

(ア) 修繕の状況

No	修 繕 箇 所	No	修 繕 箇 所
1	消防設備 (火災通報装置・避難口灯) 修繕	6	第二会議室出入口オート丁番交換修繕
2	超音波発生装置修繕	7	ヘアキャッチャー修繕
3	F A X 修繕	8	照明設備修繕
4	浴室用給湯器修繕	9	駐車場区画線修繕
5	電話回線配線修繕	10	コンセント増設修繕

② 事業及び行事等の実施

ア 指定管理事業

(ア) 実施事業

相談事業	医師による健康相談	11 回 延べ 78 人
	看護師による健康相談	97 回 延べ 756 人
	心配ごと相談員による生活相談	11 回 延べ 40 人

川越市民の日	施設無料開放 12月1日(金)
季節行事等	七夕飾り付け、節分豆まき クリスマス会
敬老の日	特別事業
講座の実施	ビーズアクセサリー講座、もしも介護が必要になったら講座

(21) 総合福祉センター事業拠点区分

① 総合福祉センターの管理運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務及び自主事業を行った。

ア 施設の利用状況

- ・開館日数：299日（※前年比100%）
- ・利用者総数：44,548人（男21,291人 女23,257人）（※前年比111%）

※今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒・検温器の設置などの取り組みを継続した。新型コロナ5類移行後も継続して防止対策を実施した。

（ア）高齢者福祉センター事業

- ・利用人数：利用者数：30,891人（男15,132人 女15,759人）
（※前年比101%）

貸室	人数	貸室	人数
プール	8,156	体育室	8,037
大広間	2,205	浴室	4,358
教養娯楽室	515	第1研修室	1,745
第2研修室	2,056	社会適応訓練室	3,009
調理実習室	205	創作室	605
機能回復訓練室	0		

（イ）障害者福祉センター事業

- ・利用人数：12,777人（男5,789人 女6,988人）（※前年比140%）

貸室	人数	貸室	人数
プール	1,231	体育室	5,191
大広間	502	浴室	846
教養娯楽室	179	第1研修室	348
第2研修室	883	社会適応訓練室	2,891
調理実習室	116	創作室	167
おもちゃライブラリー	364	点訳室	59
日常生活訓練室	0	機能回復訓練室	0

（ウ）その他の事業

- ・視察：1件（男15人 女16人）（前年比なし）
- ・相談：367人（男200人 女167人）（※前年比158%）
- 一般利用
- ・プール一般利用
利用者数：133人（男91人 女42人）（※前年比なし）
- ・体育室一般利用
利用者数：349人（男64人 女285人）（※前年比なし）

（エ）サークルの活動状況

- ・団体数：61団体（※前年比100%）

- ・活動回数：816回（※前年比102%）
- ・利用人数：延べ9,025人（※前年比111%）
- ・種目：囲碁、将棋、川柳、写真、水墨画、書道、太極拳、健康体操、
社交ダンス、卓球、ボッチャ、サウンドテーブルテニス等

イ 施設の維持管理

(ア) 修繕の状況

No	修 繕 箇 所	No	修 繕 箇 所
1	誘導灯交換修繕	2	体育室・3階雨漏り修繕
3	プールバランシングタンク用排水バルブ修繕	4	中水揚水ポンプ（No.1）修繕
5	中水揚水ポンプ（No.1）修繕の付帯修繕	6	プール床暖房昇温用温水配管修繕
7	プールオーバーフロー槽用通気管修繕	8	プールオーバーフロー槽用通気管修繕の付帯修繕
9	3階事務所多機能電話機修繕	10	1階男子トイレ液体石鹼入れ修繕
11	1階事務所・リハ室・おもちゃライブラリー照明修繕	12	1階女子トイレ洗面台水栓修繕
13	社会適応訓練室プロジェクター修繕	14	プールオーバーフロー槽水位電極棒修繕
15	プール採暖室ヒータ機器修繕	16	風除室玄関マット修繕
17	女子浴室引き戸に係る修繕	18	聴覚障害者用案内表示設備用無停電電源装置修繕
19	3階男子トイレ引戸修繕	20	2階女子トイレ和式便器洗浄弁修繕
21	電力電流計切替SW修繕	22	男子浴槽ろ過装置修繕
23	男子浴槽ろ過装置バルブ修繕	24	浴槽排水用薬注装置修繕
25	プール洗面台排水トラップ修繕	26	体育室ロールスクリーン修繕
27	機能回復訓練機器（タートルジム、ヒップダクション）修繕	28	風除室・1階ロビー・2階給湯室・ボランティア室照明修繕
29	オアシス利用者貸出用車いす修繕	30	女子浴室窓修繕
31	体育室ワイヤレスマイク修繕	32	体育室防球ネット用巾滑車修繕
33	1階ロビー・体育室ロビー・3階EVホール照明修繕	34	誘導灯本体・パネル・ランプ修繕
35	1階障害者デイサービス照明修繕	36	体育室ロビーソファ修繕
37	プールロッカー鍵修繕	38	1階ロビー内展示ケース修繕
39	食堂券売機・両替機の改札機修繕	40	プール券売機改札機修繕
41	体育室（北側7台分）照明修繕	42	体育室（南側5台分）照明修繕

43	プールろ過タンクエア抜き弁修繕	44	風除室点検口修繕
45	女子浴室ロッカー鍵修繕	46	プール男子更衣室フットチェッカー修繕
47	プール女子更衣室フットチェッカー修繕	48	女子風呂用超音波装置ヘアキャッチャー修繕
49	女子風呂用超音波装置ポンプ修繕	50	男子風呂用超音波装置ヘアキャッチャー修繕
51	男子風呂用超音波装置ポンプ修繕	52	浴槽排水用薬注装置（中和用）修繕
53	女子浴槽ろ過装置修繕	54	女子浴室ろ過装置バルブ修繕
55	3階女子トイレ大便器フラッシュ弁修繕	56	3階事務所ファンコイル修繕
57	体育室空調（No.2）全熱交換機モータ部修繕	58	1階障害者デイサービスファンコイル修繕
59	体育室STT用卓球台修繕	60	1階ロビー内展示ケース中板修繕
61	3階大広間畳修繕	62	3階教養娯楽室畳修繕
63	ボイラーNo.1側給湯配管エア抜き弁修繕	64	体育室女子用ロッカー鍵修繕
65	プール男女更衣室フットチェッカー修繕	66	誘導灯バッテリー・信号装置用バッテリー修繕
67	大広間給茶機修繕	68	食堂給茶機修繕
69	男子浴室戸車修繕	70	女子浴室戸車修繕
71	券売機改札機改修に伴う付帯修繕	72	中央ヘルス関節可動域修繕

② 高齢者福祉センター事業、障害者福祉センター事業の実施

ア 指定管理事業

（ア）講座の開催

高齢者及び障害者を対象に各種講座を開催し、69講座に延べ6,747人が参加した。（※前年比150%）

・対象者：60歳以上の高齢者

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援		0	0
生きがいつくり		0	0
健康の維持増進	シニアヨガ、シニアヨガA・B、メディカルハーブ	4	491
重複等するもの		0	0
合計		4	491

・対象者：障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者）

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援	青年学級Ⅰ・Ⅱ、英語で遊ぼう	3	254
生きがいづくり	親子着付け、さをり織り	2	27
健康の維持増進	リズム体操、卓球、水泳中上級等	11	632
重複等するもの	体育室開放A・B、スポーツ広場等	4	634
合 計		20	1,547

・対象者：高齢者及び障害者同時対象

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援	実用ペン字、終活のすすめ等	7	508
生きがいづくり	ガラスアート、押し花等	18	1,077
健康の維持増進	バドミントン、ストレッチ等	17	1,956
重複等するもの	オアシス失語症言語訓練会等	3	1,168
合 計		45	4,709

・中止となった事業

対 象	講 座 名	概 要
障害者	アクアビクス（知）	機械トラブルのため 全6回中止
	楽しい運動（知）	受講者が集まらず 全3回中止
高齢者及び障害者	水泳初級（高・精）	機械トラブルのため 全6回中止

(イ) 心身障害児（者）緊急一時保護事業（中止）

対象者：保護者又は家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護を必要とする
心身障害児（者）

※実施要領が完成し次第、再開予定

(ウ) おもちゃライブラリー

対象者：就学前の障害児と保護者
利用者数：延べ170人（※前年比なし）

(エ) 相談事業

身体の悩みを抱えているが、病院に行くことを迷っている方や病院では聞きにくいという方などを対象に、医師による健康相談を毎月1回、看護師による健康相談と理学療法士によるリハビリ相談は、随時受付けて行った。

また、生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言、援助を行うために民生委員相当の経験を有する相談員との連携による相談を行った。

・医師相談

内容：医師による相談

利用者数：利用者数：延べ34人（男23人 女11人）（※前年比92%）

・健康相談

内容：看護師による相談

利用者数：利用者数：延べ297人（男163人 女134人）（※前年比196%）

・リハビリ相談

内容：理学療法士によるリハビリに関する相談、運動メニューの紹介

利用者数：利用者数：延べ36人（男14人 女22人）（※前年比84%）

・生活相談

内容：生活上の心配ごと相談

利用者数：利用者数：延べ36人（男12人 女24人）（※前年比67%）

イ 自主事業

(ア) 一般対象向け講座（インターネット講座）の開催

自宅でそろえられる材料を使った創作活動や軽運動等の講座を、一般の方も参加できるように開催し、9講座に延べ92人が参加した。

(イ) 血圧測定会

新型コロナウイルス感染症拡大前は月に1回、ロビーにて看護師が来館者の血圧測定を行っていたが、現在は、各講座の受講者を対象に受付時に実施した。

(ロ) 爪切り事業

自身で爪切りが困難な方を対象に、看護師が爪切りをすることで爪のケアなどの指導を行い、利用者サービスの向上を図った

・利用者数：延べ217人（男92人 女125人）（※前年比160%）

(ハ) リハトレパーク

リハビリテーションを行う場がない方を対象に、トレーニング等を行う場を提供することで、健康の維持増進や積極的な社会参加の促進を図った。

・利用者数：延べ386人（男294人 女92人）（※前年比32%）

(ニ) オアシス毎日体操

ラジオ体操をすることで、参加者の体力向上、健康の維持増進を図った。

・利用者数：延べ1170人（男294人 女1220人）（※前年比129%）

(ホ) オアシスサロン

気軽に立ち寄れる場所、活動を共にする仲間をつくることで自宅以外の場ができ、引きこもりの予防を図った。

・利用者数：延べ73人（男37人 女36人）（※前年比114%）

(ヘ) 健康マージャンサロン

「はじめての健康マージャン教室」を受講した方や、一般利用者が継続的に健康マージャンを行える場を作り、心身の健康および社会参加の促進を図った。

・利用者数：延べ62人（男13人 女49人）（※前年比なし）

(コ) スポーツレクリエーションの集い

障害のある人もない人も、様々な種類のスポーツレクリエーションをとおして互いの交流を深めるイベントを実施した。

- ・利用者数：延べ53人（男20人 女33人）（※前年比なし）

ウ その他の事業等

(ア) ボランティアの活動状況

- ・内容：障害者のスポーツ支援
人員：延べ50人（※前年比114%）
- ・内容：障害者のその他事業支援
人員：延べ18人（※前年度比90%）
- ・内容：大広間支援
人員：延べ245人（※前年度比742%）

(イ) 視察等の受け入れ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れできず

(ウ) 協賛事業等（コ中止）

例年行っている川越市敬老マッサージや川越市クールシェアスポット等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れできず。

(エ) 事業運営に向けてのスキルアップ研修への参加

外部研修

名 称	参加者
埼玉県おもちゃ図書館連絡会・交流会	1
中堅職員キャリアパス研修 オンライン研修	1
ウォーキングフットボール体験会	1
虐待防止研修（知的障害者施設向け）	1
社会福祉実習指導者講習会埼玉県会場 オンライン研修	1

2 公益事業区分

(22) 法人後見事業拠点区分

個人で受任するのが難しく、他に適切な候補者がいないと判断された人の後見人等として、受任した方が安心した生活を送ることができるよう、定期的な訪問で生活状況を確認し、必要なサービス等が受けられるよう支援を行った。

① 法人としての後見等受任

社会福祉法人川越市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱に基づき、法人として後見等受任や監督を行った。

・推薦依頼件数

推薦経緯	件数
市高齢者いきがい課	1
市障害者福祉課	0
その他	0
合計	1

・受任件数

類型	高齢者(生保)	障害者(生保)	件数
後見類型	5(1)	7(1)	12
保佐類型	2(0)	2(1)	4
後見監督	0(0)	1(1)	1
保佐監督	0(0)	1(0)	1
合計	7(1)	11(3)	18

② 市民後見人に関すること

- ・市民後見人候補者のうち1名が市民後見人として選任された。本会が監督人を受任し、後見業務の引き継ぎと市民後見人からの相談対応を行った。また、「市民後見のしおり」を作成し、具体的な業務内容を示した。
- ・市民後見人養成講座を修了した法人後見支援員の活動を支援した。

③ その他、法人後見の推進に関すること

ア 法人後見事業協議会を開催

- ・開催回数：3回
- ・場所：総合福祉センター

イ 成年後見に関する研修等に参加

- ・場所：彩の国すこやかプラザ、Zoom オンライン研修、等
- ・参加回数：5回

(23) 成年後見制度推進事業拠点区分

成年後見制度の利用促進のため、制度の周知啓発・制度利用や後見人等の相談に応じたほか、申立の支援などを行った。

① 広報、普及啓発

ア リーフレットの配布

- ・ 配布回数：9 回
- ・ 配布枚数：9,721 枚

イ 市民や福祉関係事業所等に向けた研修の開催

- ・ 出前講座開催回数：12 回
- ・ 延べ参加者数：283 人

ウ 成年後見公開講座の開催

- ・ 日時：12 月 16 日(土)
- ・ 場所：ウェスタ川越
- ・ 講師：及川保之弁護士
- ・ 内容：いま、知りたい成年後見制度
- ・ 参加人数：161 人

② 相談対応及び成年後見制度の利用支援

ア 社協職員が応じる制度利用に関する相談

- ・ 延べ相談件数：562 件

イ 法律の専門家が応じる定期的な成年後見相談所の開催

- ・ 開催回数：24 回
- ・ 相談件数：31 件

ウ 個々の事情に応じた制度利用支援

後見制度の申立を検討している方に対して、職能団体を通じた申立支援を案内する等の支援を行った。

③ 後見制度の担い手育成

市民後見人等地域の担い手育成を目的とした研修等を実施した。

ア 成年後見入門講座の開催

- ・ 開催回数：3 回
- ・ 延べ参加者数：39 人

イ 成年後見応用講座の開催

- ・ 開催回数：2 回

- ・延べ参加者数：59人

ウ 市民後見人養成講座修了者向けフォローアップ研修の開催

- ・開催回数：3回
- ・延べ参加人数：20人

エ 市民後見人養成講座修了者への福祉関係の情報提供

- ・提供回数：12回
- ・延べ提供者数：439人

④ 成年後見センター運営委員会の設置

成年後見センター運営委員会の設置運営にかかる庶務

- ・運営委員会の開催回数：3回
- ・場所：総合福祉センター

⑤ 成年後見センター協議会の設置

専門職団体・市・医療・介護・福祉関係者・法律関係者が連携協力する体制づくりを目的とした協議会の設置運営にかかる庶務

- ・協議会の開催回数：2回
- ・場所：総合福祉センター

⑥ その他成年後見制度の利用支援に関し必要な事項

運営委員会、協議会、受任者調整、後見人等に対するチーム支援、地域連携ネットワーク構築等に向けた基盤づくり

- ・市、自治会、他機関、多職種等との打ち合わせなど：12回